



Joy for Life

2024年3月期 通期決算概況

2024年5月16日

株式会社 J-オイルミルズ

問い合わせ先：

経営推進部 Tel. 03-5148-7101

Agenda

1 2023年度 通期決算概況

2 2024年度 業績予想

3 中期経営計画の進捗状況

4 参考資料

2023年度 連結業績概要

(単位:億円)

	2022年度 通期実績	2023年度 通期実績	2023年度 通期実績		2023年度 通期予想	
			前年差	前年比	前年差	前年比
売上高	2,604.1	2,443.2	▲160.9	93.8%	2,450.0	99.7%
営業利益	7.3	72.4	65.1	986.4%	70.0	103.5%
経常利益	14.4	90.4	76.1	629.6%	70.0	129.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益	9.9	67.9	58.1	688.6%	50.0	135.9%
営業利益率	0.3%	3.0%			2.9%	
ROE	1.0%	7.0%			5.0%	
ROIC	0.4%	3.8%			3.5%	
EPS	29.8	205.4			151.2	

2023年度 セグメント別業績

(単位:億円)

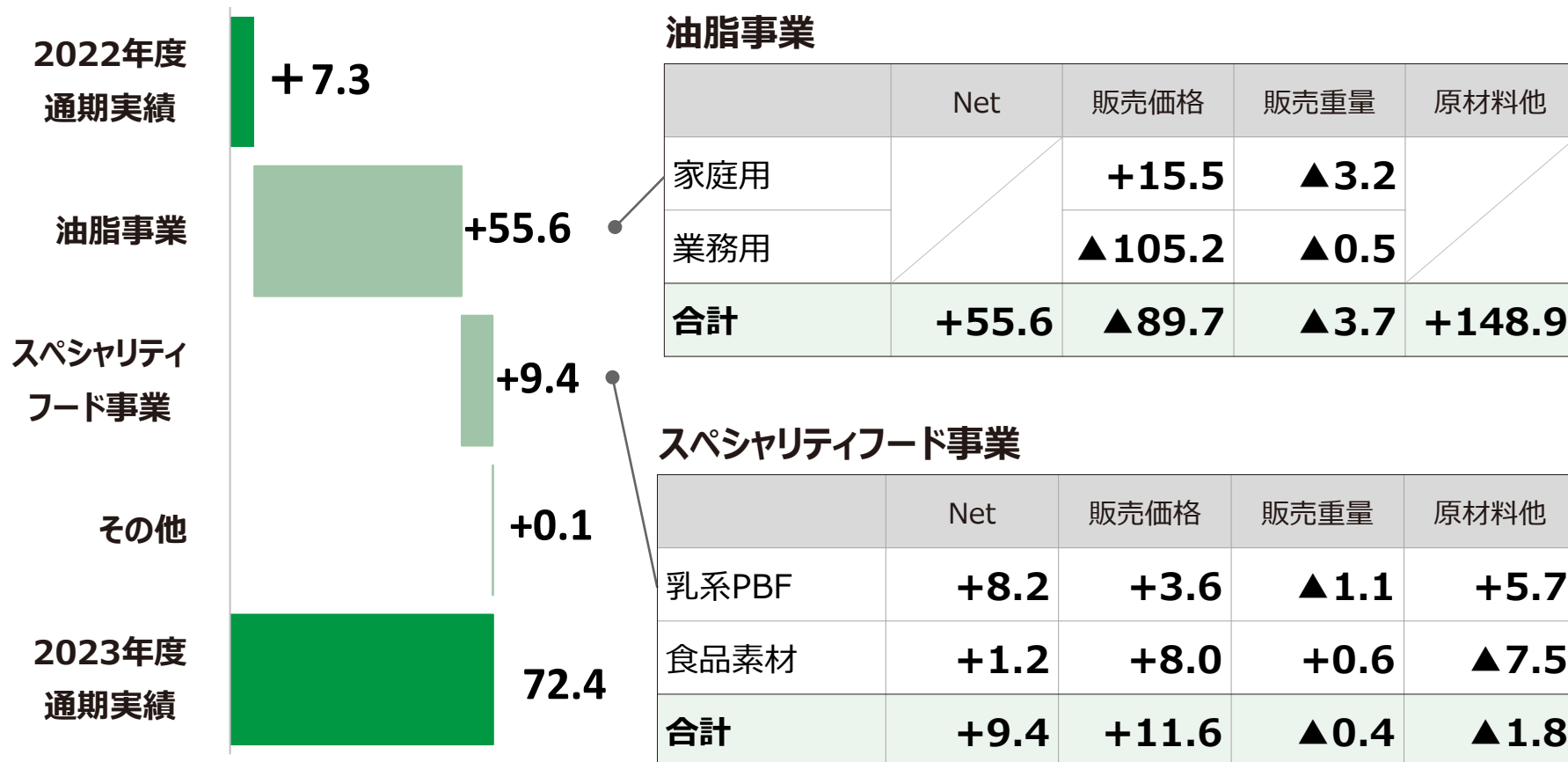
売上高	2022年度 通期実績	2023年度 通期実績			2023年度 通期予想	
			前年差	前年比		予想比
油脂事業	2,365.1	2,200.0	▲165.1	93.0%	2,205.0	99.8%
スペシャルティフード事業	228.5	232.8	4.3	101.9%	235.0	99.1%
(内乳系PBF)	135.2	129.5	▲5.7	95.8%	130.0	99.6%
(内食品素材)	93.3	103.3	10.0	110.7%	105.0	98.3%
その他事業	10.5	10.4	▲0.1	99.1%	10.0	104.0%
連結合計	2,604.1	2,443.2	▲160.9	93.8%	2,450.0	99.7%

営業利益	2022年度 通期実績	2023年度 通期実績			2023年度 通期予想	
			前年差	前年比		予想比
油脂事業	13.9	69.5	55.6	498.6%	69.2	100.5%
スペシャルティフード事業	▲8.2	1.2	9.4	-	0.0	-
(内乳系PBF)	▲10.1	▲1.8	8.2	-	▲3.0	-
(内食品素材)	1.9	3.1	1.2	160.0%	3.0	102.3%
その他事業	1.6	1.7	0.1	108.5%	0.8	210.3%
連結合計	7.3	72.4	65.1	986.4%	70.0	103.5%

2023年度 営業利益増減分析

(単位:億円)

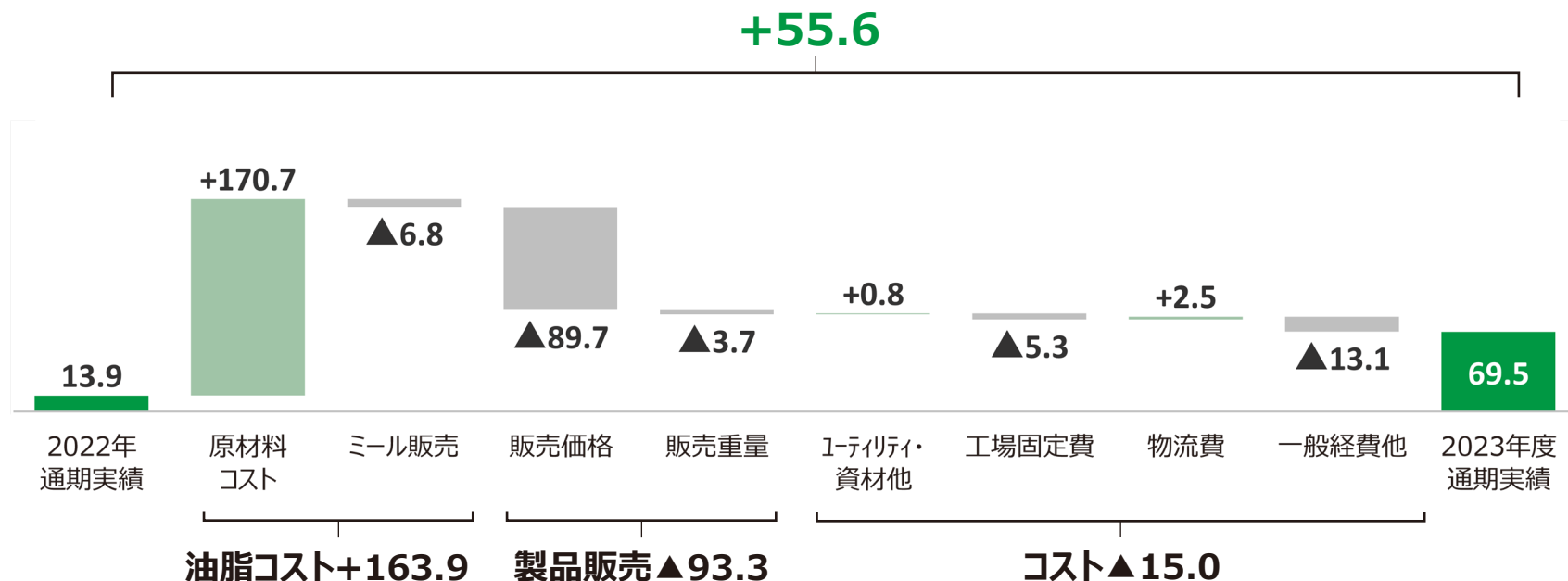
■セグメント別 営業利益増減



2023年度 営業利益増減分析

(単位:億円)

■ 油脂事業 営業利益増減



油脂コスト詳細			
原材料コスト	+170.7	大豆 菜種 為替	+85.7 +246.8 ▲100.3
ミール販売	▲6.8	販売価格 販売重量	▲0.1 ▲6.7
		購入油 在庫影響他	▲25.2 ▲36.3

コスト詳細			
1-ティリティ・資材他	+0.8	1-ティリティ・資材他	+10.4 ▲9.6
一般経費他	▲13.1	人件費 広告費	▲1.1 ▲2.4
		販促費 その他	▲0.6 ▲9.0

高付加価値品

※2023年度より、高付加価値品の定義を一部変更（過去遡及適用済）

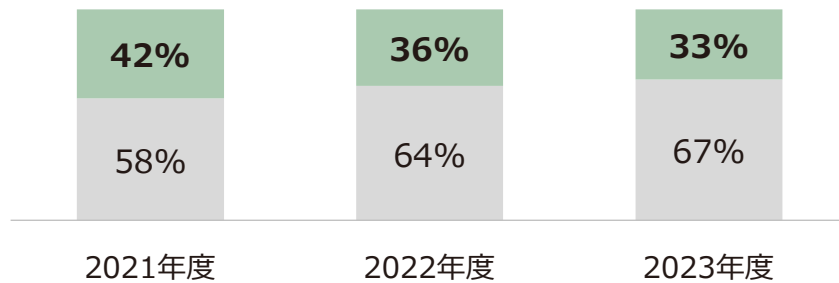
■ 高付加価値品連結売上高・粗利益

（単位：億円）

		2022年度 通期実績	2023年度 通期実績	前年比
	家庭用	140.0	154.9	110.6%
	業務用	431.1	406.2	94.2%
油脂事業		571.1	561.2	98.3%
スペシャルティ フード事業		111.5	115.5	103.6%
売上高		682.6	676.7	99.1%
粗利益		101.1	117.4	116.2%
粗利益率		14.8%	17.4%	+2.6ppt

■ 連結粗利構成比推移

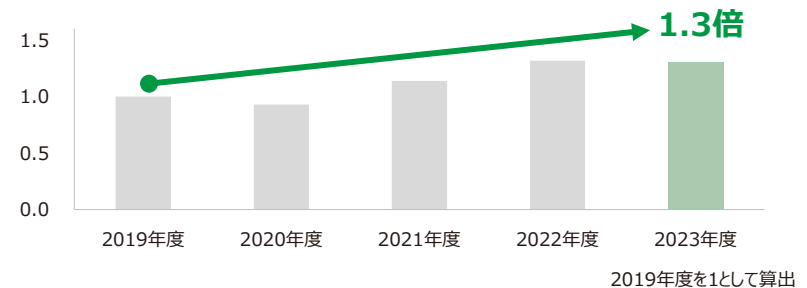
■ 汎用品 ■ 高付加価値品



■ 主な高付加価値品の売上高構成比



長持ち油SUSTEC®シリーズの販売重量推移



B/S・C/Fの状況

■ 連結貸借対照表

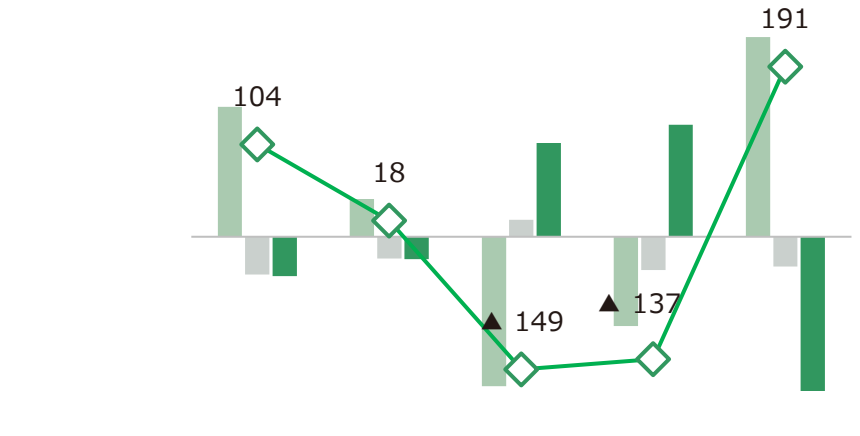
	22年期末	23年期末	増減
流動資産	1,108	1,088	▲20
現預金	24	42	+18
売上債権	443	455	+12
棚卸資産	609	555	▲54
その他	32	36	+4
固定資産/繰延資産	678	693	+15
有形・無形資産	541	456	▲85
投資その他	137	236	+100
資産計	1,786	1,781	▲5

	22年期末	23年期末	増減
負債	844	760	▲83
仕入債務	182	207	+25
有利子負債※	446	288	▲158
引当金	44	45	+1
その他	171	220	+49
純資産	943	1,021	+78
株主資本	898	952	+55
包括利益他	41	64	+23
非支配株主持分	4	4	+0
負債・純資産計	1,786	1,781	▲5

※有利子負債・・・社債と借入金の合計値を使用

■ キャッシュフロー

(単位:億円)



(年度)	2019	2020	2021	2022	2023
営業C/F	146	43	▲168	▲100	225
投資C/F	▲42	▲24	19	▲37	▲33
財務C/F	▲44	▲25	106	126	▲173
フリーC/F	104	18	▲149	▲137	191

【資本の財源及び資金の流動性についての分析】

(年度)	2019	2020	2021	2022	2023
自己資本比率(%)	60.6	60.1	58.2	52.5	57.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	1.6	5.2	-	-	1.4
インステレスト・カバーレッジ・レシオ(倍)	172.7	36.3	-	-	174.9

Agenda

1 2023年度 通期決算概況

2 2024年度 業績予想

3 中期経営計画の進捗状況

4 参考資料

2024年度通期 連結業績予想

(単位:億円)

	2023年度 通期実績	2024年度予想				
		上期	下期	通期	前年差	前年比
売上高	2,443.2	1,200.0	1,250.0	2,450.0	6.8	100.3%
営業利益	72.4	30.0	40.0	70.0	▲2.4	96.6%
経常利益	90.4	30.0	45.0	75.0	▲15.4	82.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	67.9	18.0	32.0	50.0	▲17.9	73.6%
営業利益率	3.0%	2.5%	3.2%	2.9%		
ROE	7.0%			5.0%		
ROIC	3.8%			3.9%		
EPS	205.4			151.2		

2024年度通期 セグメント別業績予想

(単位:億円)

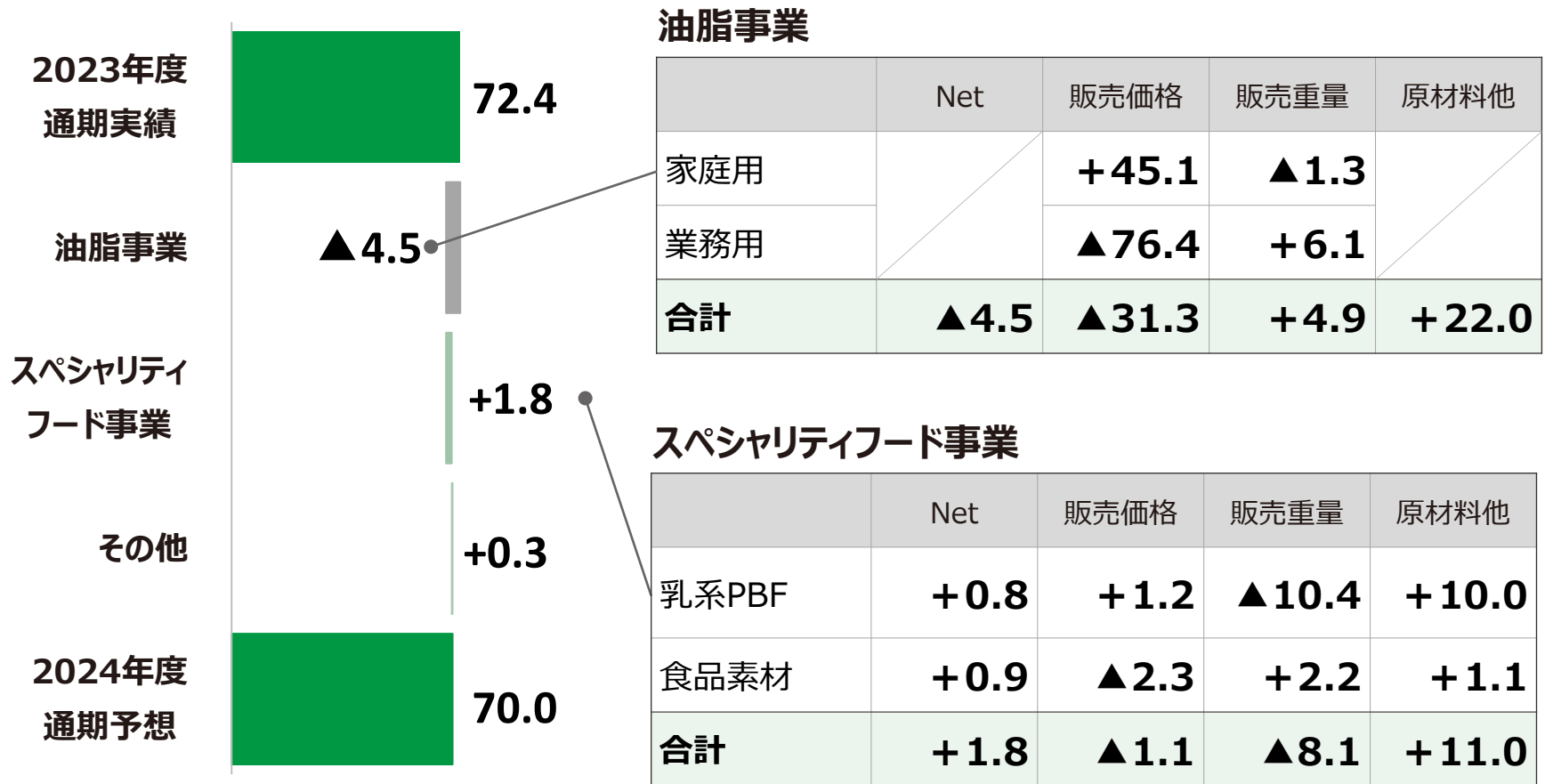
売上高	2023年度 通期実績	2024年度 通期予想	2024年度	
			前年差	前年比
油脂事業	2,200.0	2,225.0	25.0	101.1%
スペシャルティフード事業	232.8	215.0	▲17.8	92.4%
(内乳系PBF)	129.5	105.0	▲24.5	81.1%
(内食品素材)	103.3	110.0	6.7	106.5%
その他事業	10.4	10.0	▲0.4	96.1%
連結合計	2,443.2	2,450.0	6.8	100.3%

営業利益	2023年度 通期実績	2024年度 通期予想	2024年度	
			前年差	前年比
油脂事業	69.5	65.0	▲4.5	93.5%
スペシャルティフード事業	1.2	3.0	1.8	244.1%
(内乳系PBF)	▲1.8	▲1.0	0.8	—
(内食品素材)	3.1	4.0	0.9	130.3%
その他事業	1.7	2.0	0.3	118.9%
連結合計	72.4	70.0	▲2.4	96.6%

2024年度 営業利益増減分析

(単位:億円)

■セグメント別 営業利益増減



Agenda

- 1 2023年度 通期決算概況
- 2 2024年度 業績予想
- 3 **中期経営計画の進捗状況**
- 4 参考資料

2023年度の成果

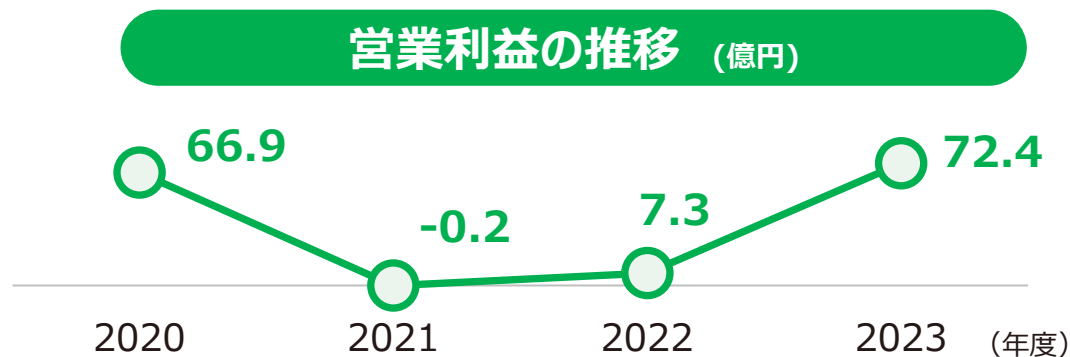
2020年度以前の利益水準まで回復

■ 成長戦略

- 業務用油脂・食品素材：外部環境に応じた適正価格での販売
- 家庭用油脂：商品のポートフォリオ改善による市場シェアの拡大

■ 構造改革

- 不採算事業の収益改善
- バリューチェーンと資産効率の大幅な改善



企業価値の現状評価

現状評価

株主資本コスト

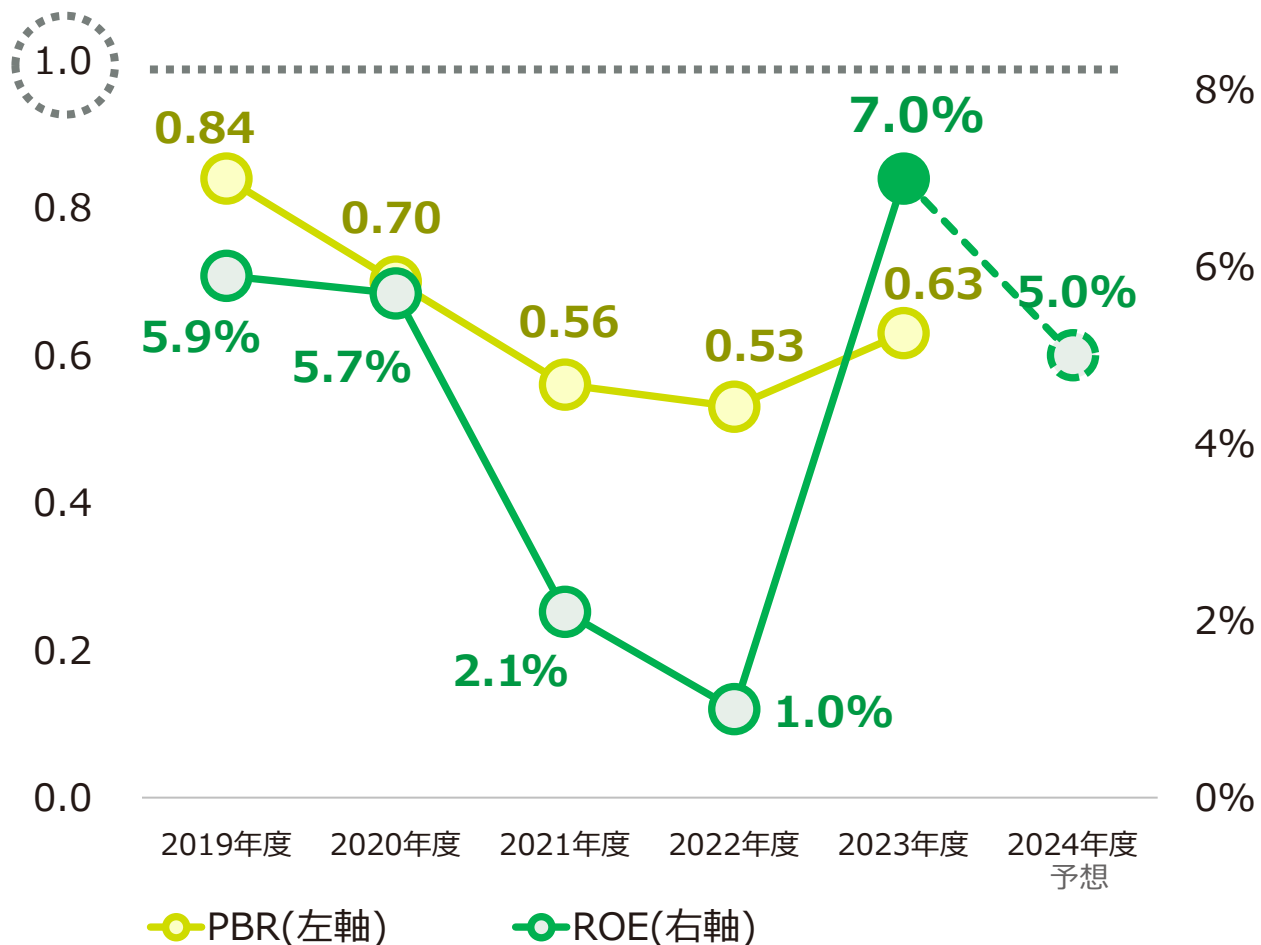
6-7%*

期待成長率

ROE・PBR向上
には成長戦略の
実現が必要

※:当社の認識する株主資本コスト
(CAPMベース)

PBR・ROEの推移



企業価値向上に向けた取り組み

方針・目標

- 第六期中期経営計画で掲げた目標の達成
- 将来に向けた積極的な成長投資と安定的な株主還元

定量目標

営業利益	ROE	ROIC	EPS
110億円	8.0%	5.0%	260円

取り組み

成長戦略

- 「おいしさデザイン®」企業として提供価値の最大化
- 海外事業展開の加速
- コミュニケーションブランドの育成

構造改革

- マーガリン事業の採算改善
- Violifeの終売
- 生産拠点の効率と工程稼働率の最大化

財務戦略

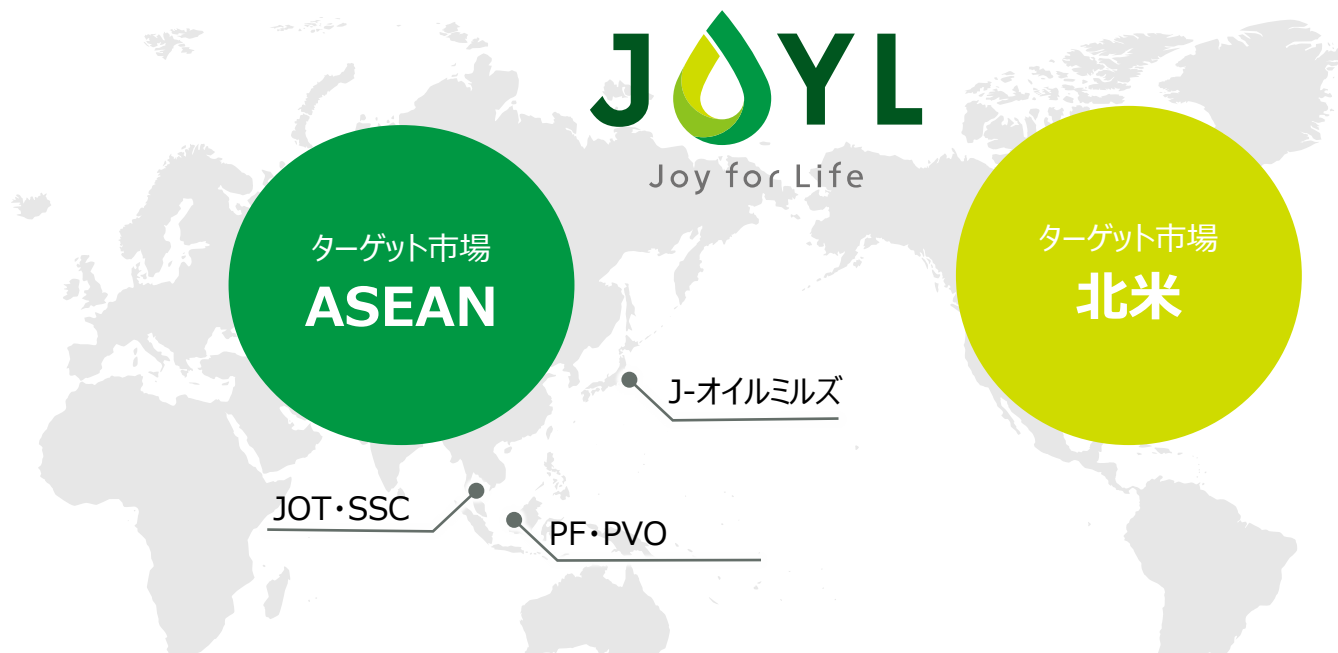
- 資産圧縮の推進（政策保有株式・遊休資産の売却、在庫圧縮）
- オーガニック、インオーガニック成長機会の両面で積極投資

「おいしさデザイン®」企業として提供価値の最大化

おいしさ x 健康 x 低負荷で人々と社会と環境へのよろこびを創出



海外事業展開の加速



- ・ 食品素材を中心とした販売拡大
- ・ ASEAN日系企業との協働拡大
- ・ ポートフォリオの拡充
- ・ 海外事業の人財刷新と育成

構造改革の継続取り組み

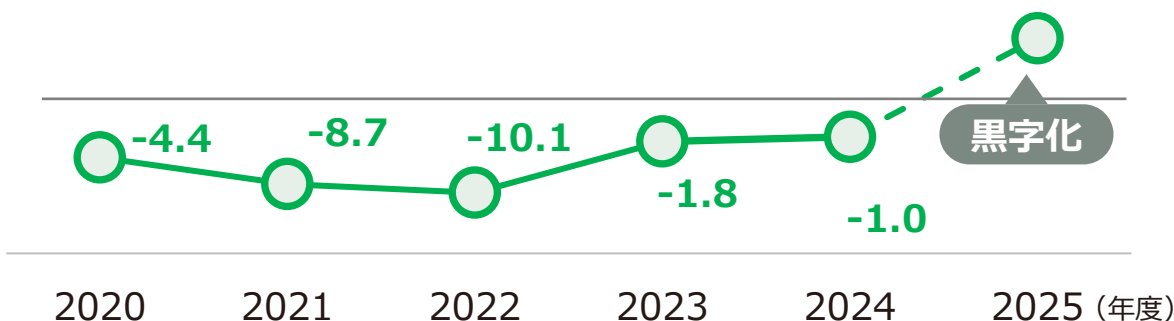
業務用
マーガリン
事業の
黒字安定化

Violife
ブランドの終売

生産拠点の効率
と工程稼働率の
最大化

構造改革を加速し、リソースを成長分野へ

乳系PBF事業の営業利益推移 (億円)



製油パートナーズジャパン
Oilseed Processing Partners Japan

2023年10月2日
製油パートナーズジャパン株式会社設立

キャピタルアロケーション計画 (FY2022-FY2026)

キャッシュイン

営業キャッシュフロー 180億円	資産圧縮 50億円	外部資金調達 240~470億円*
----------------------------	---------------------	-----------------------------

総額 **470~700億円**

キャッシュアウト

設備投資 220億円	事業投資 140~370億円	配当還元 110億円
----------------------	--------------------------	----------------------

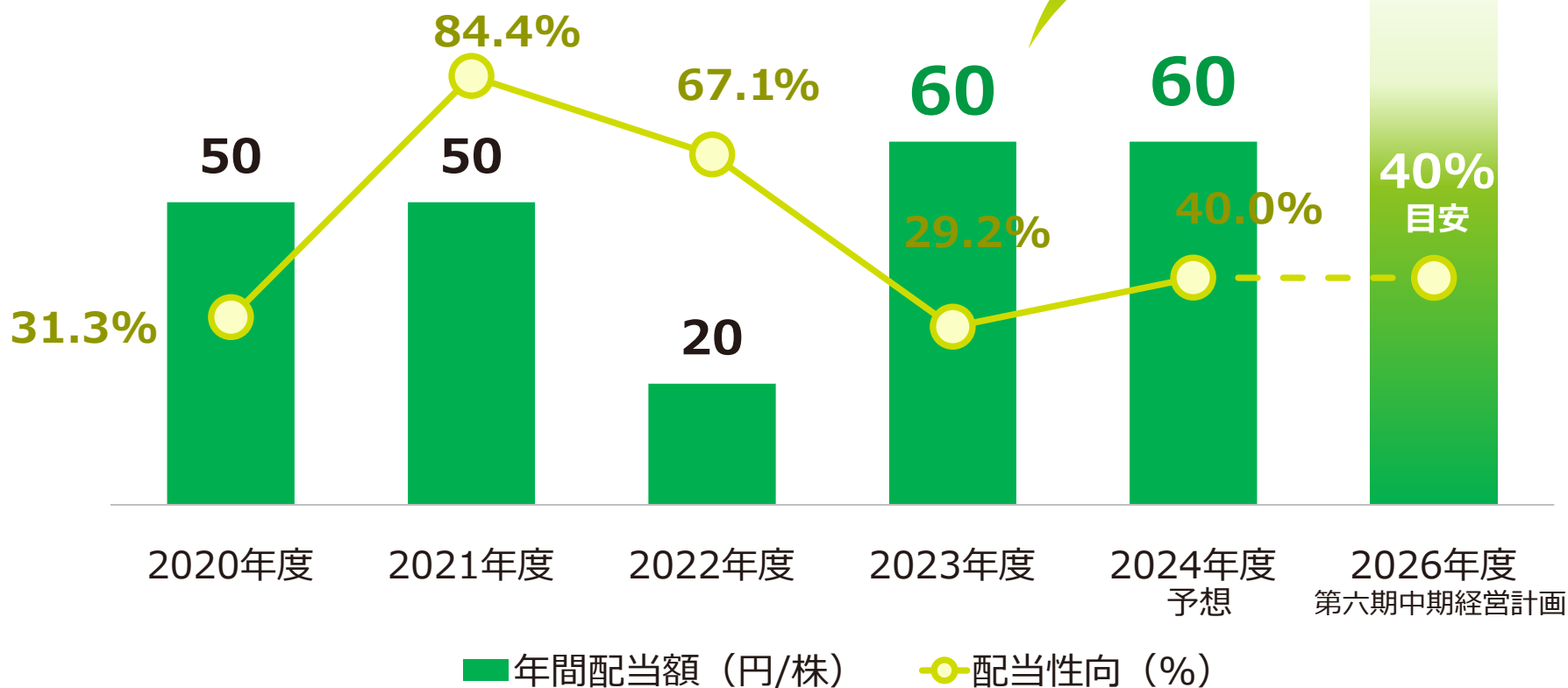
オーガニック、インオーガニック成長機会の両面で積極投資

*D/ELシオ 0.5~0.7倍

株主還元

基本方針

連結配当性向**40%**を目安とした安定的な配当



おわりに

■ 目指すべき未来

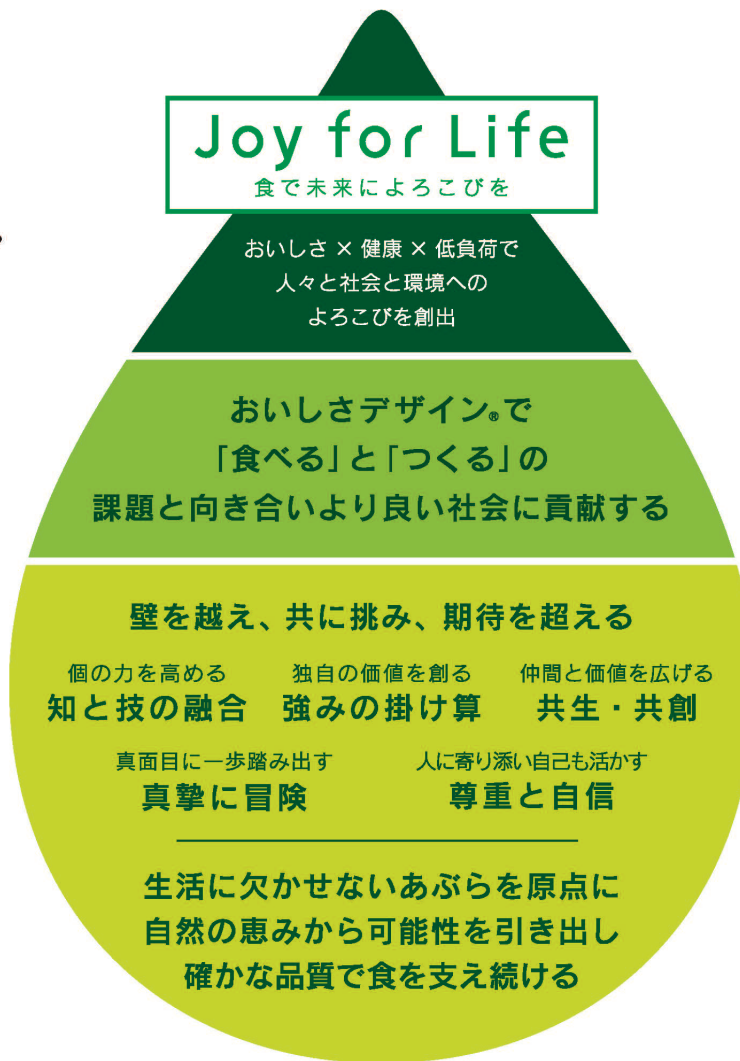
植物から生まれる「あぶら」「でんぷん」「たんぱく」。
人が生きるために欠かせない3つの要素を活かして
おいしさ、そして人々の健康、社会や環境の負荷抑制に貢献し、
未来のよろこびを増やしたい。
それが私たちが目指す未来「Joy for Life®」に込めた想いです。

■ 私たちの使命

健康や環境の不安を気にせず、おいしい食事を楽しみたい。
おいしい料理をつくり、大切な人やお客様を笑顔にしたい。
その願いに応えるため、
私たちは独自の強み「おいしさデザイン®」で、
「食べる」よろこびと、
調理や生産する「つくる」よろこびも創造しながら、
食にまつわる健康・環境・食資源などの課題に真摯に向き合い、
よりよい社会に貢献します。

■ 私たちの価値／存在意義

どんな時も領域や常識、限界の壁を越え
仲間とつながり、共に挑戦します。
その先にいる人々の期待を超えて
まだどこにもない価値を創るために。
その価値と行動の基盤として
生活に欠かせないあぶらの提供を原点に、
自然の恵みから可能性を引き出し
人に真摯に寄り添い貢献していくという
私たちの存在意義を忘れず食を支え続けます。



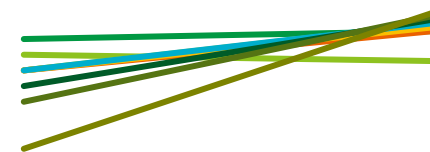
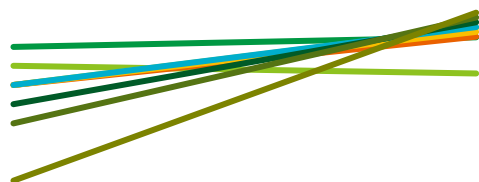


JOYL

Joy for Life

參考資料

第六期中期経営計画



第五期中計
2017～2020

第六期中計
2021～2026

目指すべき姿
2030

成長戦略

- 高付加価値品の粗利益構成比増加
- 油脂製品の粗利益率改善
- マレーシアでのM&Aによる事業展開

- JOYLブランド価値向上
- 高付加価値品の拡大
- 油脂汎用品の収益力改善
- 海外・スペシャリティフード事業強化

- JOYLブランド確立
- 高付加価値品の拡大加速
- 油脂汎用品の安定的収益創出
- 海外・スペシャリティフード事業拡充

構造改革

- SKU削減
- グループ会社統合
- 事業撤退/譲渡

- バリューチェーン&業務プロセス改革
- 資産効率改善

- 生産体制の最適化完了
- 資産効率の一層の改善

経営基盤強化









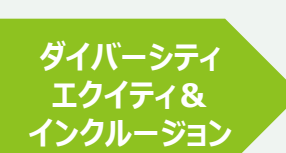







- ガバナンス強化
- コーポレート機能の強化
- 人事制度の改定

- ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン
- リスク対応力・グループガバナンス強化

- 選ばれる会社へ
- グループ会社ガバナンス強化 (海外含む)

サステナビリティへの取り組み

気候変動や調達、DE&I、商品開発への取り組みを実施中

社会課題	主な取り組み	FY30 目標	SDGsへの貢献
 <p>気候変動</p>	<ul style="list-style-type: none"> GHG(CO₂)排出量削減 カーボンニュートラルに向けた取り組み TCFDに関するリスクと機会の特定、シナリオ分析を実施し財務インパクトを開示 	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量50%削減 (Scope 1+2 FY2013対比) ノンフロン化(低GWP含) FY50まで ●カーボンニュートラル (Scope 1+2) 	  
 <p>サステナブル調達</p>	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーンのESGマネジメント実施 (人権・環境への配慮) パーム油トレーサビリティ向上、認証油供給体制強化 	<ul style="list-style-type: none"> サステナブル調達の深化 農園までのトレーサビリティ100% 	  
 <p>ダイバーシティ エクイティ& インクルージョン</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人財育成 マネジメント意識改革 全従業員対象教育 (DE&I専任組織) 多様な人財が共創できる組織風土の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率20% 外国籍人財の登用 	   
 <p>サステナブル商品開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> 環境チェックリストの運用 環境配慮型容器の開発と上市 カーボンフットプリント認証取得拡大 	<ul style="list-style-type: none"> プラスチック廃棄ゼロ化 自社包材への循環採用開始 廃棄物ゼロエミッション※ 	 

※当社定義：工場・事業所から発生する産業廃棄物について、単純焼却・埋立処分を行わないこと（再資源化率99.9%以上）

2023年度通期 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年比較

(単位:億円)

	2022年度 実績	2023年度 実績	対前年 増減額	詳細
油脂事業	13.9	69.5	+55.6	
家庭用				販売価格:+15.5、販売重量:▲3.2
業務用				販売価格:▲105.2 販売重量:▲0.5
スペシャリティフード事業	▲8.2	1.2	+9.4	
乳系PBF	▲10.1	▲1.8	+8.2	販売価格:+3.6、販売重量:▲1.1
食品素材	1.9	3.1	+1.2	販売価格:+8.0、販売重量:+0.6
その他	1.6	1.7	+0.1	
総計	7.3	72.4	+65.1	

■ 油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年 増減額	詳細
製品販売	▲93.3	
販売価格	▲89.7	汎用品:▲89.2、高付加価値品:▲0.5
販売重量	▲3.7	汎用品:▲1.6、高付加価値品:▲2.0
参考) 高付加価値品	▲2.5	(家庭用: +21.1、業務用:▲23.7)
油脂コスト	+163.9	
原料コスト	+170.7	大豆:+85.7、菜種:+246.8、為替:▲100.3、購入油:▲25.2、在庫影響他:▲36.3
ミール販売	▲6.8	販売価格:▲0.1、販売重量:▲6.7
その他コスト	▲15.0	
1-ティリティ・資材他	+0.8	1-ティリティ: +10.4、資材他: ▲9.6
工場固定費	▲5.3	
物流費	+2.5	
一般経費他	▲13.1	人件費:▲1.1、広告費:▲2.4、販売促進費:▲0.6、その他:▲9.0

*為替・・・22年度:131円/1ドル、23年度:139円/1ドル (期中平均レート)

2024年度業績予想 営業利益増減分析詳細

営業利益 前年比較

(単位:億円)

	2023年度 実績	2024年度 通期予想	対前年 増減額	詳細
油脂事業	69.5	65.0	▲4.5	
家庭用				販売価格:+45.1、販売重量:▲1.3
業務用				販売価格:▲76.4 販売重量:+6.1
スペシャリティフード事業	1.2	3.0	+1.8	
乳系PBF	▲1.8	▲1.0	+0.8	販売価格:+1.2、販売重量:▲10.4
食品素材	3.1	4.0	+0.9	販売価格:▲2.3、販売重量:+2.2
その他	1.7	2.0	+0.3	
総計	72.4	70.0	▲2.4	

■ 油脂事業 営業利益増減分析詳細

	対前年 増減額	詳細
製品販売	▲26.5	
販売価格	▲31.3	汎用品:▲69.6、高付加価値品:+38.3
販売重量	+4.9	汎用品:+0.5、高付加価値品:+4.4
参考) 高付加価値品	+42.7	家庭用:+50.0、業務用:▲7.4
油脂コスト	+52.3	
原料コスト	+109.3	大豆:+87.0、菜種:+92.9、為替:▲61.9、購入油:▲24.6、在庫影響他:+15.8
ミール販売	▲57.0	販売価格:▲60.6、販売重量:+3.6
その他コスト	▲30.4	
1-ティリティ・資材他	▲7.8	1-ティリティ:▲4.4、資材他:▲3.4
工場固定費	▲3.9	
物流費	▲10.5	
一般経費他	▲8.3	人件費:▲3.3、広告費:+4.5、販売促進費:▲0.1、その他:▲9.4

*為替・・・23年度:139円/1ドル、24年度通期予想:146円/1ドル (期中平均レート)

原料動向

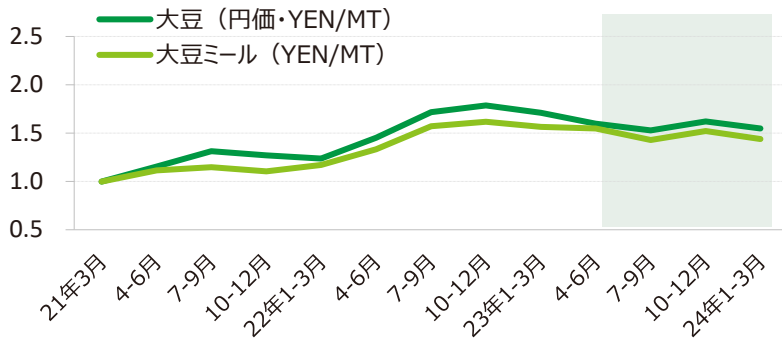
原料・為替状況※1

	23'1Q	23'2Q	23'3Q	23'4Q	24'1Q		24'2Q		24'3Q		24'4Q	
	結果	結果	結果	結果	結果	前年差	予算前提	前年差	予算前提	前年差	予算前提	前年差
大豆 ¢/Bu※2	1,508.7	1,432.8	1,408.6	1,313.4	1,193.4	▲315.3	1,241.8	▲191.0				
菜種C\$/MT※3	815.4	733.6	782.4	682.7	608.1	▲207.3	622.3	▲111.3				
ミルクリ1-%	61.8	61.5	56.2	61.8	59.8	▲2.0	61.3	▲0.2				
海上運賃us\$/t※4	51.5	53.7	53.7	62.3	68.9	+17.4	70.0	+16.3				
為替レート※5	133.5	138.5	145.6	148.9	149.4	+15.9	146.4	+7.9				

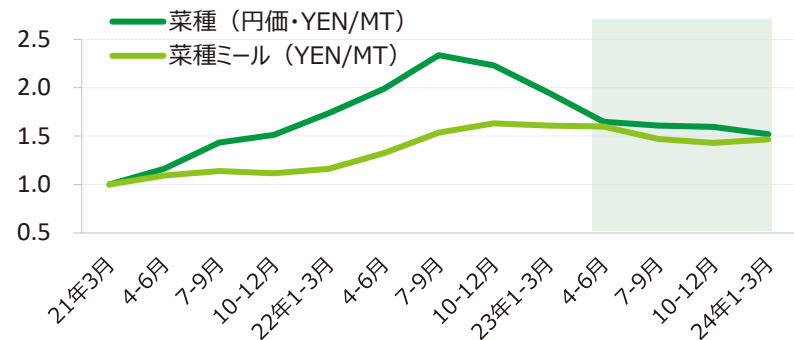
※1: 搾油原料の買付けは基本的に約3カ月前の時点にて行っており、本図では各期の業績に影響のある期間相場の平均値を示しています
 ※2: シカゴ相場 ※3: ウィネベグ相場 ※4: US Gulf-Japan PANAMAX ※5: 為替TTSレート

原料価格推移

大豆・大豆ミール



菜種・菜種ミール



※2021年3月を1として算出

価格改定状況

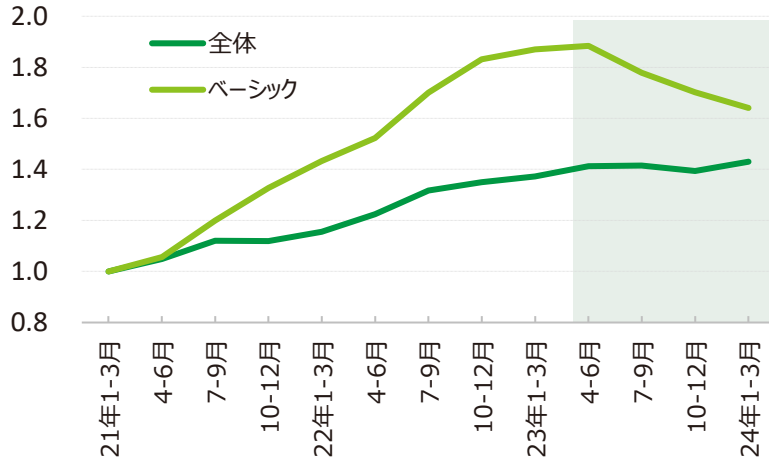
油脂製品の価格改定状況

改定日	対象および額/改定幅	改定日	対象および額/改定幅
2021/4/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	2022/4/1	家庭用/業務用/加工用油脂 40円/kg以上※2
2021/6/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	2022/7/1	家庭用/業務用/加工用油脂 60-400円/kg以上※3
2021/8/2	家庭用/業務用/加工用油脂 50円/kg 以上	2023/10/2	家庭用/業務用オリーブオイル製品 14-57%
2021/11/1	家庭用/業務用/加工用油脂 30円/kg 以上	2024/5/1	家庭用/業務用オリーブオイル製品 32-80%
2022/2/1	家庭用/業務用/加工用油脂 40円/kg以上※1		

* 2023/4/1より家庭用、業務用のオリーブオイル、ごま油、こめ油などの条件圧縮を実施
 * 2024/1/5より家庭用、業務用のごま油の条件圧縮を実施予定
 ※1: 菜種油脂製品のみ対象 ※2: 2022/2/1に改定した菜種油脂製品を除く全商品対象
 ※3: 全商品対象

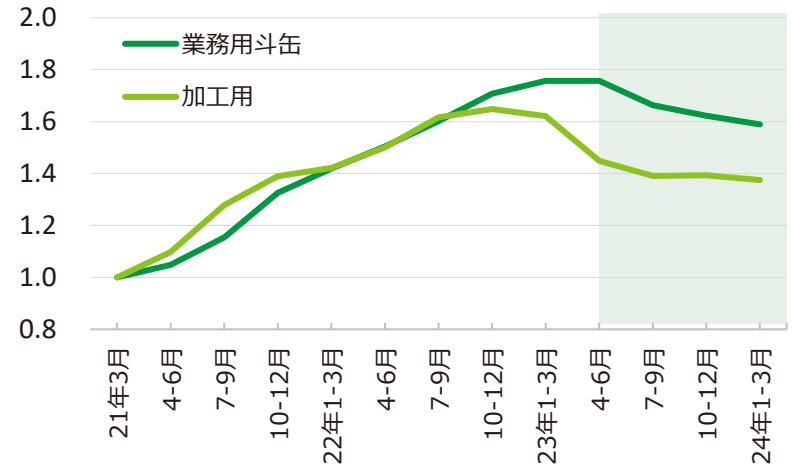
価格改定推移

家庭用油脂製品



2021年1-3月を1として算出
 出典：INTAGE (SRI+ 油脂市場:2021年1月～2024年3月)

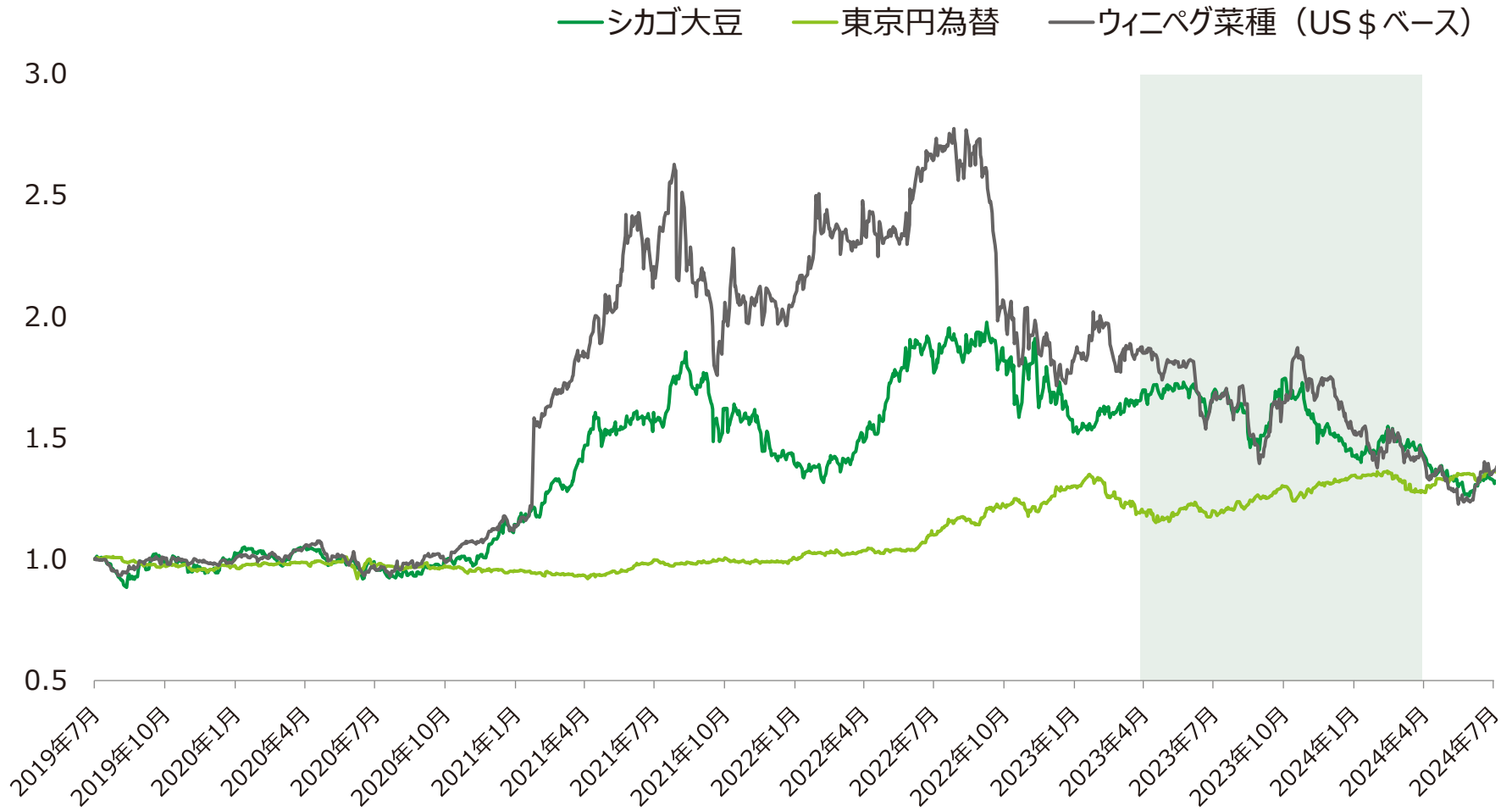
業務用油脂製品



2021年1-3月を1として算出
 出典：日経相場情報

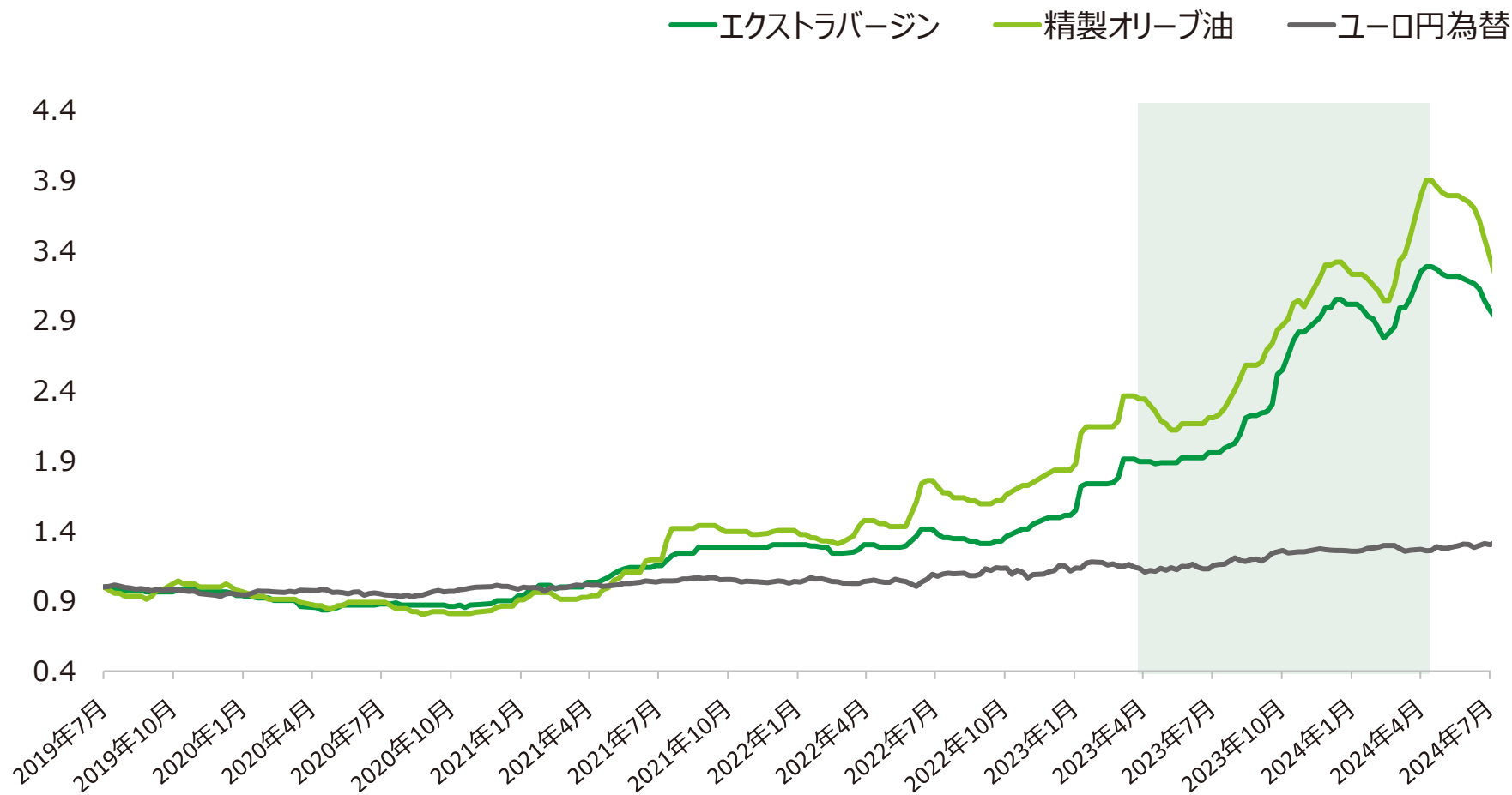
大豆、菜種、為替(米ドル)の相場動向

*原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2019年4月を1とする(図中では2019年7月が1となる))

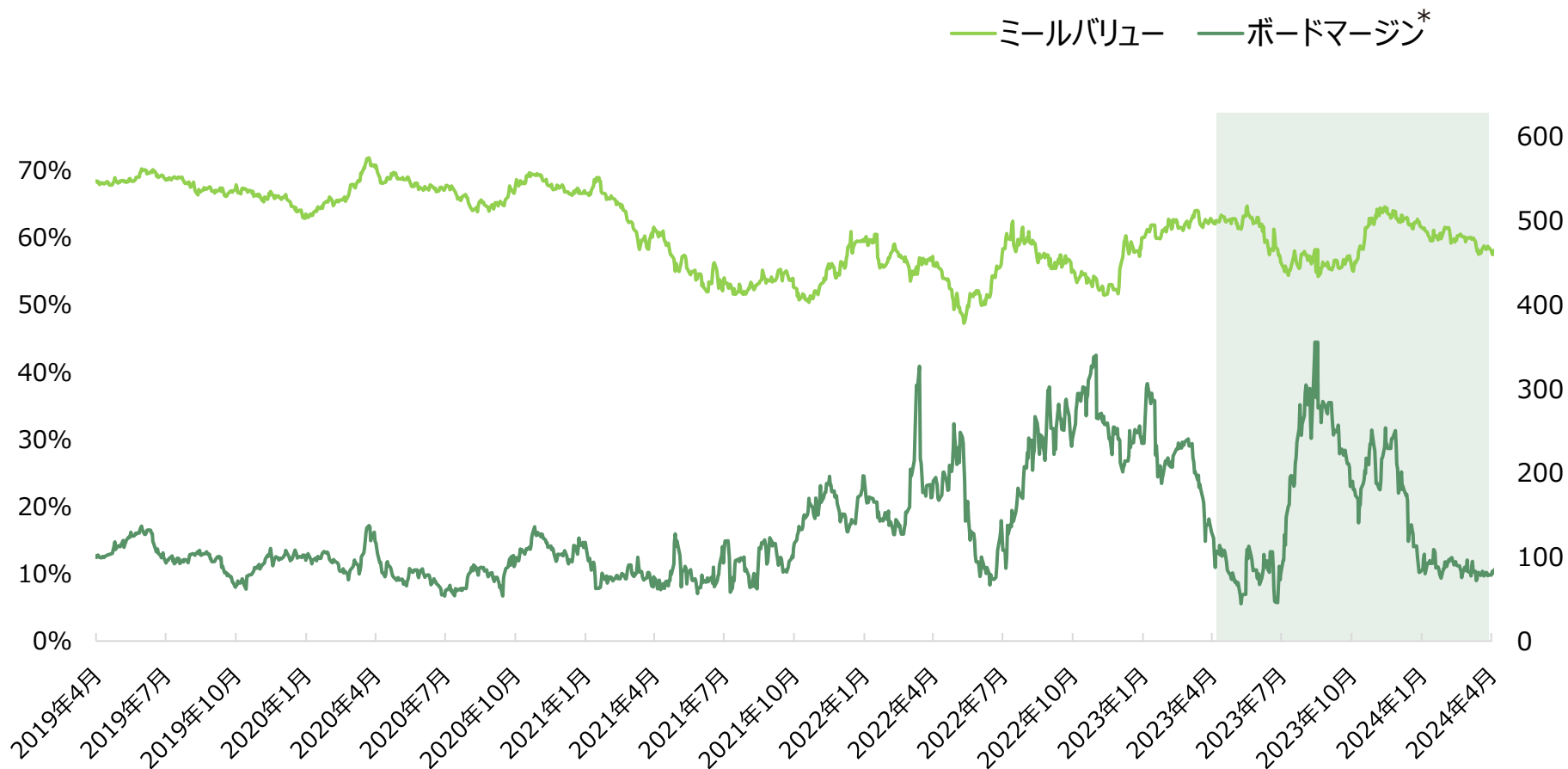


オリーブ、為替(ユーロ)の相場動向

* 原料調達状況に近づけるため、相場データを3ヶ月ずらして表示(2019年4月を1とする(図中では2019年7月が1となる))



ミールバリューの動向



* シカゴ大豆定期 1 ブッシェルから産出する大豆油と大豆ミールの価値の合計と大豆 1 ブッシェルの価格の差